

教育センターニュース

ミネルバ

110号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
Tel 0952-62-5211 Fax 0952-62-6404

特集記事

- 「授業で勝負！」(講座授業)
- 特色ある学校の紹介(パートⅢ)
- 頑張っています長期研修生！
- 教育センター知っ得情報



授業で勝負！

教育センター所員による講座授業の様子をいくつか紹介します。今年度は全部で 14 本の講座授業を行い、新しい教材の導入や指導の在り方について提案しました。『 』内は、受講者の感想です。

小学校英語活動



大きな数を表す英語表現を使って、楽しく意味のあるやり取りを行いました。川の長さや山の高さに関する質問に何とか英語で答えようとしていました。多くの子どもが興味をもって活動に取り組み、ALT とのコミュニケーションを楽しんでいました。

『他教科で学習した内容の中に、英語活動で使える題材が多くあると感じた。日ごろからアンテナを立てて、使えるものを増やしていきたい。』

小学校音楽科



「あまの川の歌をつくろう」という題材で、宮沢賢治の詩に旋律を付けるという活動に取り組みました。新しい学習指導要領において充実が求められている“音楽づくり”の内容です。手順を明確にし、豊かな発想を引き出す授業を行いました。

『音楽づくりの活動は今までほとんど取り組んだことがなかったので、授業を参観させていただいて、自分でもやってみようという意欲がわいてきた。』

小学校算数科



算数を活用する力を育てるために、既習事項や生活経験、児童の多様性を生かし、様々な視点から課題の解決を図る授業を行いました。本時は、多様な考え方を自由に出し合い、比較するというオープンエンドアプローチの授業展開で行いました。

『算数の活用力を育てるための授業づくりのヒントを得ることができた。』『オープンエンドアプローチの授業をできるだけ取り入れていきたい。』

中学校社会科



裁判員制度を理解させるための提案授業を行いました。模擬裁判を通して、生徒に有罪・無罪を判断させる場面を設定した授業です。将来自分が選ばれる可能性があるということで、多くの生徒が興味をもって授業に臨んでいました。

『今回の授業のシナリオやワークシートを参考にし、早速授業で生かしたいと思います。模擬裁判は、生徒にとってすばらしい体験になったと思います。』

中学校家庭科



「わたしの自慢の朝食」という題材で、グループで考えた朝食献立を発表し合う授業を行いました。生徒のワークシートを凝縮ポートフォリオとしてまとめさせ、題材全体の学習内容やこれまでの履歴が分かるように工夫しました。

『グループに出向いて発表したり、付せんを利用したりするのは新鮮でよかった。』『実践しやすい内容で、“朝食”は取り組みやすいと思った。』

高等学校国語科



解釈力の育成を目指した漢詩の授業を行いました。「解釈のための視点」を与え、漢詩における表現内容の創作に取り組みせました。生徒たちは使われている漢字からイメージをふくらませ、漢詩の魅力を感じ取っていました。

『2つの詩の相違点や1つの詩の中の関係性を見付けていくという試みは、とても新鮮で、漢文に限らず、古文などにも取り入れてみたいと思いました。』



「ミネルバ」はローマ神話に由来する学問・知恵を司る女神の名前です。女神の連れているフクロウは知恵の象徴だと言われています。時代が転換していく状況の中で英知をもって飛躍し、そこから新しい時代を切り拓く願いが込められています。



特色ある学校の紹介（パートⅢ）

豊かな体験を通して命の大切さを学ぶ

鹿島市立北鹿島小学校

学校横の田んぼに大きく実った金色の稲穂。児童と地域の農協青年部の方々、NGO から派遣されたアジア各国からの留学生が、それぞれ鎌を片手に、稲を刈り取っていきます。さわやかな秋の空のような子どもたちの晴れ晴れとした明るい表情が印象的です。

本校は、佐賀県西部に位置し、渡り鳥の中継地として有名な新籠(しんごもり)海岸に続く塩田川と鹿島川に挟まれた平野にある、全校児童 218 名の小学校です。

平成 19 年度より文部科学省と鹿島市教育委員会の研究指定を受け、「命の大切さを学ばせる豊かな体験活動推進事業」に取り組んでいます。教育目標を「命・ひびきあい」と定め、命を大切にする体験活動を通して、児童一人一人の命が輝き、響き合う学校を目指して、3つのプロジェクトを実践しています。

1つ目は「わくわく体験プロジェクト」です。様々な職種の方で組織する学校支援団体「命の大切さをはぐくむ体験活動支援会議」と連携を図り、学校単独ではできない豊かな体験学習を行っています。冒頭で紹介した稲刈りでは、留学生の働く姿に、「お米一粒一粒を大切に作る心」を学びます。また、漁協青年部の協力で実現した海苔摘み体験では「プロの仕事を尊敬する気持ち」を抱きました。そして、専門的な知識や技術を学ぶだけでなく、人として大切な、生き方や考え方も学ぶことができました。

2つ目は「きらきら表現プロジェクト」です。児童が心を感じたことを表現する機会を数多く設定することで、自分や友達のよいところをお互いに見付けたり分かち合ったりすることができ、普段の生活の中でも家族や周りの人に対して感謝の気持ちをもつようになりました。

3つ目の「根っこいきいきプロジェクト」では、「ごみ箱空っぽ大作戦」など日常的に継続してできる取り組みを展開しています。

これら一連の活動を通して、たくさんの感動とともに豊かな心が培われています。これからも、様々な体験活動を通して児童の学びをより豊かなものにしていきたいと思ひます。



「学び合い」を取り入れた授業の工夫

佐賀市立東与賀中学校

授業の始めに、教師が今日の目標と課題を板書します。「今日はここまでやってください。ではどうぞ！」これを合図に、生徒同士が少人数のグループを組んで学び合いが始まりました。「おーい、〇〇さんがこの課題は理解できているぞー！」と教師が呼び掛けます。数人の生徒が、その生徒のもとに集まり、考え方などを学び合っています。

本校は佐賀市の南方に位置し、南に有明海を望む広大な水田地帯の広がる地域にあります。

平成 17～19 年度は学力向上の研究に、平成 20 年度からは佐賀市の委嘱により「学び合い」を取り入れた授業改善に取り組んでいます。「学び合い」とは、認知心理学の理論を基にした教育実践で、上越教育大学学校教育研究科の西川純教授が提唱されているものです。学習課題について教師が最初から最後まで教えるのではなく、教科書やワークシートを有効に活用しながら学習目標を段階別に設け、それぞれの生徒が課題に対して1つ1つ取り組む中で、つまづいている生徒が、理解できた生徒のところへ行き、学び合うということです。理解できた生徒が、つまづきやすいポイント等を示しながらアドバイスをします。校区内にある東与賀小学校も同様の研究を行い、小中で連携しながら取り組んでいます。

単元の最後に行う「確認テスト」で、生徒が学習内容を習得できているか確認しています。また、授業の最後には、教師が「今日の学び合い」についての振り返りを行い、次の授業での質問タイムがよりよいものになるようにしています。これまでの授業では、学習内容の理解が深まらないまま次の学習に進むという生徒が少なからず見受けられましたが、この学び合いを取り入れてからは全員が基礎的なことを理解した上で次のステップに取り組むことができるようになりました。

生徒の反応が多岐にわたるので、教師が授業の流れをコントロールすることが難しい面もあります。しかし、学び合うという行為を通して生徒同士の人間関係も改善され、それが学級の雰囲気づくりにも役立つという相乗効果も生まれています。



「起業家マインド」でスペシャリスト育成

佐賀県立牛津高等学校

本校は、佐賀県の中央部にある小城市牛津町に位置する、県内唯一の家庭科だけの専門高校です。福祉や保育の専門性を高める生活経営科、ファッション産業にかかわる専門性を高める服飾デザイン科、食産業にかかわる専門性を高める食品調理科の3学科で構成されています。

平成17年度から19年度までの3か年間、文部科学省の委託を受け、「目指せスペシャリスト」研究開発指定事業に取り組みました。これは、指定を受けた全国の専門高校が将来のスペシャリストの育成に関する特色ある教育を行うもので、本校では、「起業家マインド」育成という新たな視点から家庭科の専門科目やインターンシップ等を見直し、体系的な実践を行うことでキャリア教育の充実を図りました。

この取り組みの大きな特色として、「起業家入門Ⅰ・Ⅱ」という学校設定科目が挙げられます。この授業は、創造力や発想力、コミュニケーション能力等を高める学習を行い、商品の開発を前提とした実践的な活動を通して、「起業家マインド」の育成を図るものです。この成果として、昨年度は牛津高校ブランドの商品企画・製作・販売を行い地域の方々から大好評を得ました。また、全国の専門高校が参加する第17回全国産業教育フェアのデザイン画コンテストにおいて、最優秀賞の文部科学大臣賞を受賞したこともこれらの学習の成果だと考えます。

これまでの活動を通じて、地域の方々から「地域の活性化には高校生の力が必要である」との大きな期待を寄せていただいていることが分かりました。今までも、小城市牛津町の赤レンガ館での販売活動など地域と連携した活動を行ってきましたが、今後は、企画のアイディアを出すなど地域企画や運営そのもののかかわりを深め、生徒が校外でも輝いていける場を地域の方々と共に作っていくことが大切であると考えています。

職業観・勤労観を身に付けさせるキャリア教育の推進が叫ばれている昨今、本校としても民間コーディネーター等を活用して企業との連携を拡充し、産業界とのつながりを強化していきたいと考えています。そして、地域に育てられ、地域に貢献できるスペシャリストの育成に努めていきたいと思っています。



頑張っています長期研修生！

様々な研究に取り組んでいます

平成19年度までの成果はこちら

長期研修事業は、県内の学校教育における諸課題の解決を目指した研修制度です。平成21年2月17日(火)の教育実践交流会において、それぞれの研究の途中経過をポスターセッション形式で発表する予定です。

長期研修生の研究課題一覧

A	読解力を高める 国語科学習指導 の在り方	本庄小学校	江口 雅子	国語	B	よりよく判断する 力を高める指導 の在り方	二里小学校	富永 浩司	道徳
		鳥栖北小学校	今泉 幸子	国語			白石小学校	山口 剛義	特別活動
		古枝小学校	川野 仁司	国語			開成小学校	池田 雄一	総合的な学習の時間 (コンピュータ活用)
	活用する力を高める 算数・数学科 習指導の在り方	入野小学校	北村 一康	算数	C	個や集団の成長 を促す教育的支 援の在り方	金立小学校	戸塚 勝利	生徒指導 (コンピュータ活用)
		有田小学校	黒髪 憲治	算数			鹿島小学校	前田 洋子	教育相談
		鍋島中学校	河野 貴徳	数学			武雄中学校	岩永 智子	教育相談
	思考力、表現力 を高める学習指 導の在り方	有明東小学校	眞崎 靖	社会		特別支援学校に おける個に応じた 支援の在り方	大和養護学校	谷口 真弓	領域・教科を 合わせた指導
		致遠館中学校	森 宏章	社会			ろう学校	家永 佳代子	数学
		田代中学校	澁谷 健	理科					
	体験活動を生か した学習指導の 在り方	切木中学校	宮原 映美	外国語 (英語)					
		北部小学校	南里 安洋	図画工作					
		嘉瀬小学校	三好 智恵	生活					
		大草野小学校	荒川 恵美	生活					

A：基礎学力の定着
B：豊かな人間性の育成
C：個別あるいは集団に
応じた生徒指導、特
別支援教育の充実



センタートップページ

教職員研修
教育センターの研修事業を紹介しています

- 研修講座案内
- 出前講座
- 研修体系の見直し(概要) **NEW**
- 初任者研修
- 10年経験者研修
- **長期研修**
- 教育実践交流会



教育センター

知っ得情報
Information

教育論文・教育情報コンテンツ入賞者発表！！

今年度の教育論文・教育情報コンテンツの募集には、36編の力作が寄せられました。厳正な審査の結果、次のように入賞校・入賞者を決定しました。入賞校・入賞者のお名前と研究主題をお知らせします。応募されたみなさん、本当にありがとうございました。また、入賞されたみなさん、おめでとうございます。

☆教育論文部門

《校内研究の部》

優秀賞 伊万里市立東陵中学校 校長 花島 陽一郎 代表 教諭 下田 祐子

研究主題 中学校における発達障害生徒の支援の在り方

～一人一人のニーズに応じた支援の方策について～

優良賞 鹿島市立能古見小学校 校長 池田 正明 代表 教諭 山口 正二郎

研究主題 ふるさとから学び、未来を拓く子どもの育成

～生活科・総合的な学習の時間の取り組みを通して～

《個人研究の部》

優秀賞 佐賀市立勸興小学校 教諭 阿久根 康太郎

研究主題 自然のきまりを見いだす喜びを感じる理科学習

～目的意識を持続しながら問題の解決に向かわせる指導の工夫～

優秀賞 佐賀市立三瀬小学校 教諭 西原 宏一

研究主題 自分の考えを深めながら書く国語科学習の工夫

～様式を明確にした言語活動を通して～

優良賞 佐賀市立若楠小学校 教諭 古川 能正

研究主題 「知る」ことから「考える」ことにつなぐ理科学習指導の研究

～発見中心型の学習から再現中心型の学習への見直し～

優良賞 唐津市立相知小学校 教諭 三戸谷 史

研究主題 思考力、判断力、表現力を育む図画工作科の指導のあり方

～ミニ鑑賞交流活動と制作をみつめる活動を取り入れた造形活動を通して～

優良賞 伊万里市立立花小学校 教諭 武富 毅

研究主題 集団の中で安定した社会生活を営むための基礎を築く支援の在り方

～新設から2年目の実践を通して～

奨励賞 白石町教育研究会養護教諭部会 代表 六角小学校 養護教諭 山口 和恵

研究主題 生きる力を育てる健康教育

～自ら、振り返り・気づき・改善し、よりよい生活習慣を身につけることができる児童生徒の育成をめざして～

☆教育情報コンテンツ部門

奨励賞 神崎市立千代田西部小学校 教諭 小西 徹

タイトル みんなで歌おう



第10回 教育実践交流会のご案内

「子どもが輝く教育活動の改善と充実を求めて」をテーマに、今年度も下記の日時にて開催します。様々な分科会・ワークショップを準備し、みなさんをお待ちしております。「忙しくて時間がない」という声に応え、「交流Ⅳのみ参加」というように一部の参加も可能となっています。詳細は、二次案内及び教育センターHPをご覧ください。申し込みは「研修講座申込システム」により学校で一括してお願いいたします。なお、申し込み締め切りは**1月30日(金)**です。

開催日時：平成21年2月17日(火) 9:00～16:10



昨年度の様子